

令和 2年度 基本事業評価シート （令和元年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
施策 02 循環型社会の形成
基本事業 02 再資源化への取組
主管課： 生活環境課
関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民，市内事業者	意図（どのような状態にしたいのか） ごみの再資源化に積極的に取り組む。
------------------------------	--

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

資源化率（搬入量ベース）					
				(%)	生活環境課
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
19.60	17.40	16.50	18.00		20.00
向上指針	上がると良い	（状況）市内から排出されたごみ・資源物全体（集団回収含む）における資源化率（搬入量ベース）は、16.5%となり、前年度及び基準値を下回る結果となりました。 （原因）資源物の回収量は、集団回収で96t（11.4%）減少し、資源物全体でも110t（2.9%）減少しており、また、ごみ分が600t（3.7%）増加したことで、指標値は前年度より0.9ポイント下がりました。新聞・雑誌の発行量の減少や、集団回収の買取価格の値下がり要因の一つと思われます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

集団回収に協力している又は取り組んでいる市民の割合					
				(%)	生活環境課
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
49.10	43.90	34.60	40.00		50.00
向上指針	上がると良い	（状況）令和元年度の指標値は、前年度比9.3ポイント減となっており、基準値からは14.5ポイント低い状況にあります。 （原因）集団回収を実施している団体数は、昨年度と同数の62団体で、実施回数についても581回実施しており、昨年度と比べても1回の減少に留まっております。アンケート結果から、居住年数5年未満の方の参加率が10%台に留まっていることが原因の一つであり、地域コミュニティとの関わりの希薄化も影響していると考えられます。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0
トータルコスト	0	0	0	0	0

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

ごみ・資源物の排出に係る5種16分別の周知により、缶・びん・ペットボトル・プラスチック製容器包装・古紙・布類等の分別徹底による資源化促進を図るとともに、回収日における抜き取り防止のパトロールの実施、更にはSNS等を活用した資源物回収報奨金事業の周知に努めていきます。 また、認知度の低いリサイクル伝言板事業や小型家電の拠点回収について、周知・浸透に取組み、資源化率の向上を図ります。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]